

令和2年度に取り組む 主な事業

第4次狭山市総合計画に掲げる4つの重点テーマに沿って、令和2年度に行う主な事業を紹介します。

テーマ1 若い世代を増やす

少子化と人口減少の進行を抑制し、持続可能なまちづくりを進めます。

子育て世帯などの定住促進

●移住・定住促進事業費 3,910万円

市内に居住する親世帯と同居または近居するために、住宅を取得または増改築する子世帯を支援する、親元同居・近居支援補助制度を引き続き実施します。

令和2年度は、新たに市内で新築住宅を取得した40歳未満の方を支援する、若い世代の住宅取得支援補助制度を実施します。



教育環境の充実

●小学校校舎等改修事業費 3億9,830万2千円

●中学校校舎等改修事業費 1億6,684万円

●小学校教育用コンピュータ機器整備事業費 9,585万円

●中学校教育用コンピュータ機器整備事業費 6,280万1千円

快適な学習環境の確保のため、西中学校ほか3校の生徒用トイレの設計と入間川小学校ほか7校の職員用トイレの改修工事を実施します。

Society5.0時代を担う子どもたちにふさわしい学校ICT環境を実現するため、校内LAN無線化工事を全ての小・中学校で実施します。

また、令和2年度は児童生徒それぞれ3人に1台の情報端末を整備します。

仕事と子育ての両立支援

●民間保育所等施設整備補助事業費 2億105万1千円

新たに狭山台幼稚園の跡地に、定員109名の認可保育所を整備する社会福祉法人に対して、補助金を交付します。



子育て支援の拠点整備

●入間地区子育て支援拠点施設等整備事業費 1,238万1千円

入間中学校の跡地を活用して、子育て支援の中心的役割を担い、子育てに関する包括的な支援を行う

拠点施設などを整備します。

令和2年度は、跡地の利活用の基本計画の策定と拠点施設などの整備を行う民間事業者の募集に向けて準備を進めます。

テーマ2 まちと産業に活力を

快適な都市空間を構築し、産業を活性化し、活気のあるまちづくりを進めます。

都市基盤の整備

●入間駅周辺整備事業費 5億3,564万3千円

入間駅周辺の安全性や利便性を高めるため、駅前広場の整備や入間小学校跡地の利活用により、新たな拠点整備を推進します。



令和2年度は、建物移転や道路用地などの取得を行い一部の工事を実施するとともに、民間の商業施設の誘致を進めます。また、橋上駅舎と東西自由通路の整備については、鉄道事業者と締結した協定に基づき、基本設計を進めます。

●狭山市駅加佐志線整備事業費 6億7,554万9千円

狭山市駅東口土地区画整理事業区域境から東京狭山線までの延長約930mの区間について、整備を推進します。

●笹井柏原線整備事業費 3億617万6千円

工業団地日高線から東京狭山線までの一部区間、延長約420mと、国道407号から上広瀬土地区画整理事業区域境までの延長約590mの区間について整備を推進します。

にぎわいの創出

●入間川とことん活用プロジェクト事業費 6,105万円

入間川左岸(新富士見橋～昭代橋)の河川敷中央公園のエリアについて、入間川とことん活用プロジェクト基本方針に基づき、恒常的なにぎわいづくりに向け、官民が連携し整備を推進します。



令和2年度は、民間事業者による飲食施設のオープンに向けて周辺環境の整備を進めるとともに、子ども向けの大型遊具を設置します。

企業や事業者の支援

●産業労働センター管理事業費 1億82万3千円

中小企業や小規模事業者などが抱える、さまざまな経営課題の解決と売り上げの拡大に向けて、狭山市ビジネスサポートセンターの業務として、専門相談員による伴走型のビジネスコンサルティングを引き続き行っていきます。

テーマ3 楽しめる健康高齢社会を

子どもから高齢者まで、健康でいることが当たり前となるよう、健康第一の地域づくりを進めます。

公共交通の充実

●地域公共交通対策事業費 65万7千円

市内循環バス「茶の花号」の運行ルートの見直し後の利用状況などの調査・検証を踏まえた、茶の花号の運行



の一層の充実と新たな地域コミュニティ交通の導入について、地域公共交通会議で協議します。

さらに、民間病院の送迎バスを活用した外出支援事業を引き続き実施します。

交通安全の推進

●安全運転支援装置設置助成費 600万円

65歳以上の運転者を対象に、ペダル踏み間違い時加速抑制装置の購入および取付費用の助成を実施します。

●高齢者運転免許証自主返納支援事業助成費 650万円

70歳以上の運転者を対象に、運転免許証を自主返納した場合に交通系ICカードへの入金・購入費用の助成を実施します。

スポーツの推進

●スポーツ施設整備推進事業費 2億8,607万5千円

武道の振興を推進するため、武道館の建替えを行

います。

令和2年度は、令和4年度の供用開始に向け本体工事に着手します。

防災体制の充実

●防災対策事業費 1,560万2千円

平成30年度から実施している、土砂災害警戒区域および入間地区の不老川流域の浸水被害区域内の災害時要援護者のうち、あらかじめ登録している方の固定電話などに避難情報などを配信する「避難情報等電話一斉配信サービス」について、令和2年度は、新たに入間川浸水想定区域も対象区域に広げ、災害時の情報伝達手段の充実を図ります。

テーマ4 市政運営をみんなの力で

市民、市民団体、事業者、行政が連携、協働しながら、次の世代につながる元気なまちづくりを進めます。

市民の力を生かしたまちづくりの推進

●協働推進事業費 476万4千円

協働によるまちづくり条例に基づき、協働事業提案制度を活用した協働によるまちづくりを推進します。



令和2年度は、市民が主体となり、まちづくりに取り組むための仕組みを充実します。

行財政運営の効率化

●情報化推進事業費 2,149万2千円

事務の効率化を図り、削減できた職員の事務時間を有効に使い、市民サービスの向上につなげるため、会議録の作成時間の短縮が見込めるAI音声認識議事録作成システムを導入します。

また、データ入力作業などを自動化するRPAの実施結果をもとに、対象業務の拡充を図ります。

●AI入所選考システム導入経費 614万3千円

保育施設の入所審査について、令和元年度に実施している実証実験の結果をもとに、AI(人工知能)入所選考システムを導入します。